

# ロシア 東欧 経済速報

社団法人 ロシア東欧貿易会 〒104-0033 東京都中央区新川1-2-12 金山ビル Tel.(03)3551-6218  
ロシア東欧経済研究所 <http://www.rotobo.or.jp> [年間購読料・送料共前納 18,000円]

1999年(平成11年)10月25日 No. 1140

## 目次

経済危機1年後のロシア金融業界の状況②.....	坂口 泉 1
統計速報 1999年1～6月CIS諸国の主要経済指標/鉱工業部門別生産増減率.....	11
旧ソ連・東欧貿易商況(1999年8月).....	13
キーパーソン カザフスタンで新首相承認.....	14
CIS諸国通貨の最新為替レート.....	14

## 経済危機1年後のロシア金融業界の状況②

はじめに 前回に引き続き、今回は経済危機1年後のロシア金融業界の状況というレポートの“Ⅰ. 数字の向こうに垣間見えるロシア金融業界の全般的状況”の後半部分と、“Ⅱ. ARKO(金融機関再建機構)ならびにいくつかの商業銀行の現状”の前半部分を紹介する。

### 8. 利益額・赤字額による上位10行

利益額と赤字額の大きい上位10行を、それぞれ第9～10表で紹介しておく。ただ、これまで紹介してきたすべての数字に関し言えることだが、特にこれらの表の数字の解釈には慎重を期する必要があるように思われる。すなわち、もちろん当該の数字が一定の傾向を示すものであることは確かだが、利益が出ているからよい銀行で、赤字が出ているから悪い銀行であるとは単純には言い切れない。たとえば、第9表で第3位に入っているアルファバンクは、現在、対外債務の返済に苦慮している(もっとも、一部には資金はあるのに故意にリスクに持ち込もうとしているとの噂もある)。また、第10表で、やはり第3位に入っている外国貿易銀行の場合、赤字は為替先物取引絡みの債務をきちんと返済したことにより生じたもので、相応の増資はきちんと行っているし、決して悲観材料とは言いきれない。

赤字額の大きな銀行を列挙している第10表では、外資系の銀行が目立つ(もっとも、第9表すなわち利益額によるランキングでも外資系銀行の名前が目立つのだが)。これらの銀行の赤字も、国債もしくは為替先物取引絡みの損失により生じたものと思われるが(恐らく、